

2.案内誘導サインのレイアウトデザイン

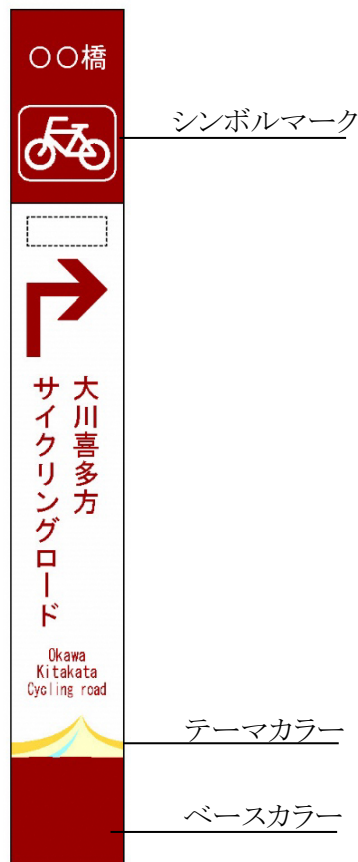
(1).基本的な考え方

案内誘導サインの考え方を以下に示す。

- ・自転車利用者に対して、ネットワーク全体の連続性や自転車向けサインであることが分かり易く示すため、共通のデザイン(自転車マーク・配色など)を用いたサインとする。
- ・景観に配慮するとともに、走行中の自転車利用者やドライバーにも見やすい配色・サイズとする。
- ・注意喚起は、遠くからでも目立つように配慮した配色とする。

(2).サインの共通デザイン

サインの共通デザインとしては、自転車利用者向けのサインであることを示す「シンボルマーク」、自転車走行空間をイメージさせる「テーマカラー」、サインの色の中で最も面積を占める「ベースカラー」について、以下に示す。



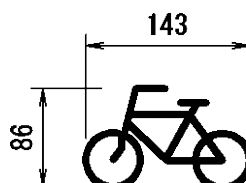
【シンボルマーク】

自転車用サインであることが一目で理解できるように、横向きの自転車マークを用いる。

自転車のピクトグラムの標準的な仕様はガイドラインで示されておらず、地域によりデザインが異なることから利用者にとって分かりづらい。そこで、視覚的に工夫されたシンプルなデザインや色彩とし、大川喜多方サイクリングロードの既存標識で採用されていたデザインを踏襲したものとする。




案内誘導看板や距離標等にレイアウトする際は自転車利用者の目線を考慮する等、分かり易い配置とする。

また、外国人が通行ルールを理解できるようピクトグラムの活用に努めるものとする。



次項に自転車道のピクトグラム調査一覧表を添付する。

自転車道のピクトグラム調査一覧表

自転車道名	安全で快適な自転車利用環境 創出ガイドライン	太平洋岸自転車ナショナル サイクルルート指定推進協議会	いわき市自転車道路整備計画 (海岸線ルート)	広島市自転車走行空間整備計画 (デルタ市街地編)	琵琶湖一周サイクリングロード (通称ピワイチ)	しまなみ海道 サイクリングロード	大川喜多方サイクリングロード
関係管理団体	国土交通省 道路局 警視庁 交通局	国土交通省、千葉県、神奈川県、 静岡県、愛知県、三重県、 和歌山県、静岡市、浜松市	いわき市	広島市	滋賀県	国土交通省、広島県、愛媛県	福島県
ピクトグラム							
表示方法	路面表示	案内看板及び路面表示	案内看板	路面表示	案内看板及び路面表示	路面表示	案内看板
総延長	該当なし	約1400 k m	約53 k m	広島デルタ市街地	約200 k m	約70 k m	約48 k m
計画作成年	平成28年7月	令和元年12月	平成30年	平成22年	2020年 (ナショナルサイクリングルート指定)	1999年	—
起終点	該当なし	起点：千葉県銚子市 終点：和歌山県和歌山市	起点：福島県いわき市勿来の関 終点：福島県いわき市久之浜	該当なし	琵琶湖を反時計回りに一周するコース	起点：広島県尾道市JR尾道駅 終点：愛媛県今治市サンライズ糸山	起点：福島県会津若松市芦ノ牧温泉 終点：福島県喜多方市熱塩温泉
特徴	・ガイドラインでは自転車道、自転車専用通行帯及び車道混在箇所に設置する法定外表示で、自転車ピクトグラムの例である。 ・自転車と人がデザインされている。	・視認し易いピクトグラムで、サイクリング向けのオリジナルピクトとして作成している。 ・自転車はできるだけシンプルな表現で、どんな人にも見やすく、わかりやすい形となっている。	・自転車専用サインであることが一目で理解できるように、横向きの自転車マークとしている。 ・本線のピクトグラムは、自転車と人がデザインされている。 ・自転車と人がデザインされている。	・ピクトグラムのイメージは、ガイドラインの法定外表示をモチーフにしている。 ・自転車と人がデザインされている。	・視認し易いシンプルなデザインで、わかりやすいピクトグラムである。 ・指定されたルートの案内看板などに使用されている。	・車道の左側に導線としてブルーラインを引き、ピクトを併用して自転車を案内している。 ・デザインは、複雑なピクトグラムとなっている。 ・自転車と人がデザインされている。	・自転車のみならず、歩行者や自動車に対しても視覚的に工夫したシンプルなデザインとしている。 ・自転車専用サインであることを一目で理解できるように、横向きの自転車マークを用いている。 ・従前のピクトをベースに、より簡略化したデザインである。
	・ガイドラインの自転車ピクトグラムなので、当該路線の自転車通行帯及び車道混在箇所に法定外表示として使用できる。	・視認し易いピクトグラムで、日本で最大規模(1400km)の太平洋岸自転車ルートの全てのサインに併記される。	・わかり易く親しみのあるデザインとなっているが、著作権や商標権はいわき市に帰属している。	・自転車利用者に向けたピクトグラムの形状は、見やすいデザインとなっている。	・自転車利用者に分かり易いデザインとなっている。	・海峡を横断するイメージデザインで、ブルーラインと併記することで効果的である。そのため、デザインは複雑なものとなっている。	・案内誘導の共通サインとして、自転車利用者に向けたピクトグラムで、従前の形を簡略化した分かり易いデザインとなっている。
考察	やや複雑なデザイン(法定外路面表示)	視認し易いシンプルなデザイン	親しみ易いが、やや複雑なデザイン	見やすいが、やや複雑なデザイン	分り易くシンプルなデザイン	複雑なデザイン	分り易くシンプルなピクトグラム

※ ピクトグラムの比較事例

- 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン
 - 関係管理団体 : 国土交通省道路局、警察庁交通局
 - 表示方法 : 路面表示
 - 作成年月日 : 平成28年7月
- 太平洋岸自転車ナショナルサイクル指定推進協議会
 - 関係管理団体 : 国土交通省、千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県等
 - 表示方法 : 案内看板及び路面表示
 - 作成年月日 : 平成元年12月
- いわき市自転車道路整備計画(海岸線ルート)
 - 関係管理団体 : いわき市
 - 表示方法 : 案内看板
 - 作成年月日 : 平成30年
- 広島市自転車走行空間整備計画
 - 関係管理団体 : 広島市
 - 表示方法 : 路面表示
 - 作成年月日 : 平成22年
- 琵琶湖一周サイクリングロード(通称ビワイチ)
 - 関係管理団体 : 滋賀県
 - 表示方法 : 案内看板及び路面表示
 - 作成年月日 : 2020年(ナショナルサイクリングルート指定)
- しまなみ海道サイクリングロード
 - 関係管理団体 : 国土交通省、広島県、愛媛県
 - 表示方法 : 路面表示
 - 作成年月日 : 1999年
- 大川喜多方サイクリングロードのピクトグラム
 - 関係管理団体 : 福島県
 - 表示方法 : 案内看板

【テーマカラー】

サイクリングロード既存標識で整備されている自転車走行空間をイメージさせるテーマカラーを用いる。



【サイクリングロード既存標識】

【ベースカラー】

既に整備されている案内サインとの整合性を考慮し、「鶴ヶ城の屋根瓦の色」や「喜多方の煉瓦色」さらに「会津三十三観音」をイメージさせるカラー（赤茶色）とする。

事例として国道118号(中野地内)の自転車通行帯においても同色を採用している。

ただし、注意喚起サインは自転車利用者やドライバーの注意を惹く「赤色」を用いる。



【会津三十三観音(左下り観音)】



【国道118号(中野地内)】



【鶴ヶ城の赤瓦】

(3).サインサイズの基本的な考え方

サインサイズは、走行中の自転車利用者が見やすいことに配慮する必要がある。サインのサイズについての基本的な考え方を以下に示す。

1)看板(縦型)のサイズ

- ・自転車向け

看板が道路の建築限界(歩道上で高さ2.5m、車道上で高さ4.5m)に入らないように、歩道の路上施設帯の幅(0.5m)の中に納まるようにする。

2)看板サインの設置高さ

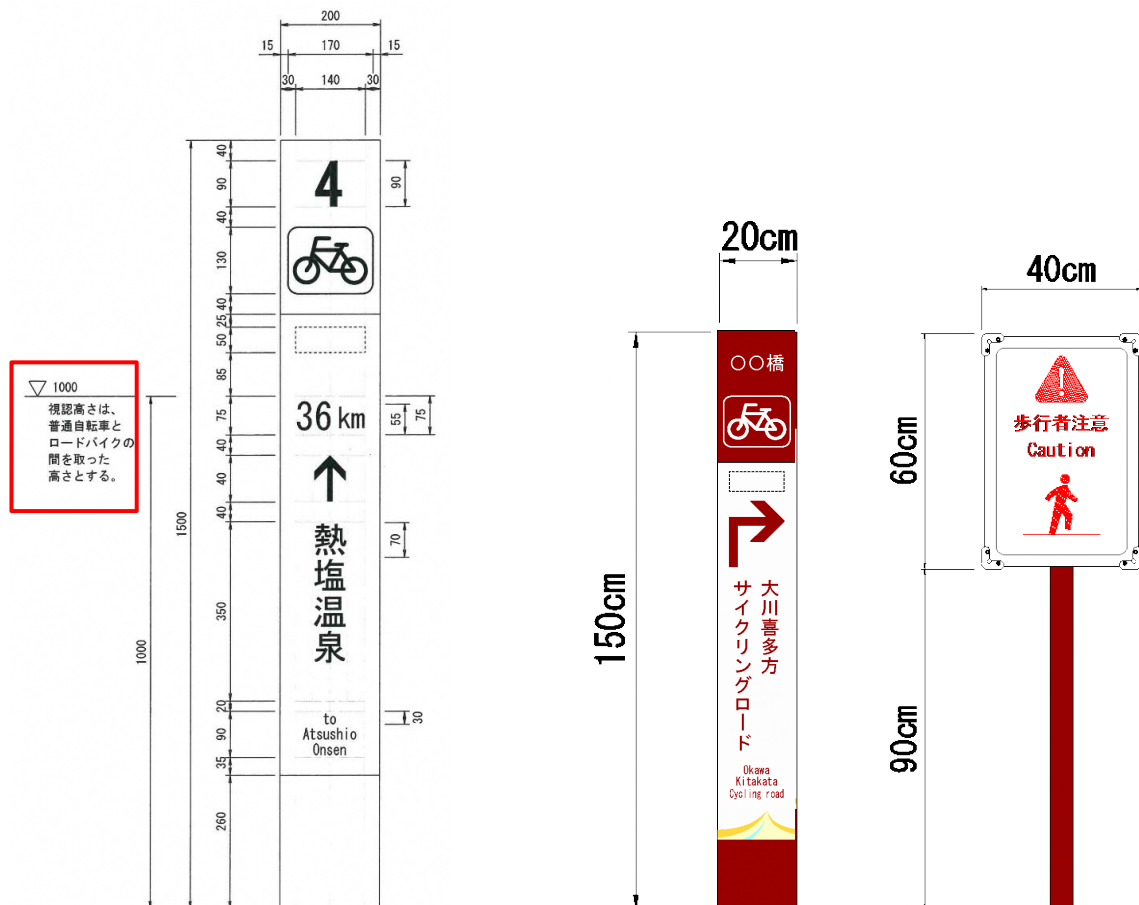
- ・看板(縦型)の設置高さ

看板(縦型)サインの設置高さは、走行中の自転車利用者の目線の高さを考慮し、看板の中心が地表より100cm程度の高さとなるように設置する。

- ・看板(標準型)の設置高さ

看板(標準型)サインの設置高さは、看板の上端が地表より150cmの高さとなるように設置する。

※なお、看板設置位置や高さについては、建築限界及び設置する道路の性格や交通の状況等を考慮し、関係機関と調整の上、決定する。

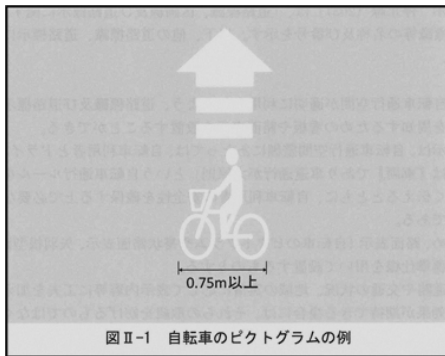


※ 自転車利用者の目線(100cm)程度の高さに設置する。

(4). 自転車のピクトグラム(路面表示)

自転車道、自転車専用通行帯及び車道混在には、法定外表示である自転車のピクトグラムを設置するものとする。本路線においては、自転車歩行者専用通行帯から一般道に合流する地点に設置する。

自転車のピクトグラムは、進行方向に対して左向きとし、進行方向を示す矢印との組み合わせを標準とし、これらの色彩は白系統を基本とする。



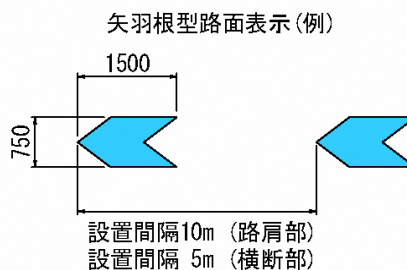
参照元:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(P. II-4 図 II-1)

(5). 矢羽根型路面表示

ガイドラインでは自転車通行空間の路面着色については具体的な色や仕様は定めておらず、例として青色系を示している。








本箇所においては、矢羽根型路面表示を自転車通行帯や自動車混在箇所に設置する場合、サインの色は夜間走行時(夕方)や雨天走行時の視認性が高く、ガイドラインにも示されていることを考慮して「青色」の表示とする。

また、矢羽根型路面表示の設置間隔は10mを標準とし、交差点部等の自動車と自転車の交錯の機会が多い区間や、事故多発地点では設置間隔を密にすることとガイドラインにも示されていることから、交差点部や横断部での設置間隔は5mとする。なお、交差点部分の路面表示は誘導案内看板から2つ分入れることとする。
※単路部は、今後会津全域で路面表示方法を統一する意向があるため、方針が決まり次第、別途検討する。

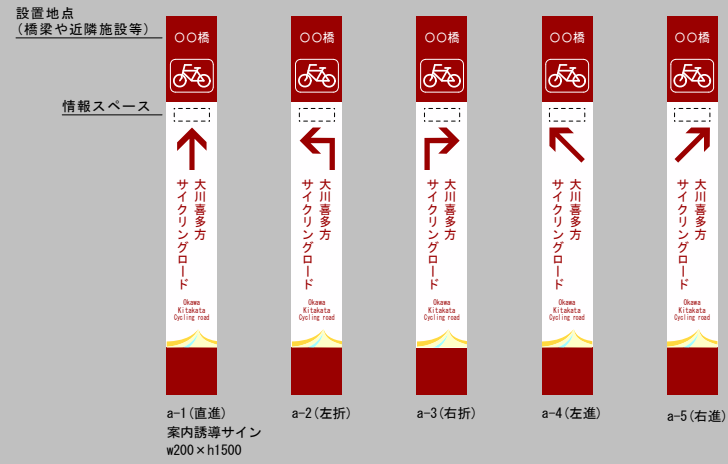


(6)案内誘導計画 レイアウト一覧

大川喜多方サイクリングロード 案内誘導計画レイアウト一覧 S=1:30

	赤茶色 DIC305 RGB153, 0, 0		青色 DIC578 RGB 0, 81, 162
	黄色 DIC804 RGB255, 204, 0		赤色 DIC158 RGB255, 0, 0
	薄黄色 DIC2055 RGB255, 255, 200		水色 DIC138 RGB0, 168, 255
	薄水色 DIC20 RGB165, 255, 255		

看板



路面表示

